

熟 年 の 手 習 い

パソコン編

第3回 メールはあなたを繋げます



今井 洋 (千葉県市川市開業)

URL : <http://www.imaident.com>
E-mail : imaident@gol.com

いきなりメールといわれても急に始められるものではありません。まずは相手を探して、パソコンよりもっと簡単な携帯電話から始めてみるのもひとつの手段です。メールのやり取りをすることは、熟年先生のこれからのひとつの道しるべとなるでしょう。

ケータイ（携帯）は話さなくてもいい

まだ付き合い始めて間もない2人、デートでファミリーレストランに入った。座席に案内されてメニューを渡された。

彼「ねえ、君、何にする？」

彼女「うーん、何にしようかしら、えーと……。私、あなたと同じでいいわ」

彼「そう、じゃ、オーダーしようか」

まもなく、ウェイトレスが注文を聞きにきた。

ウェイトレス「いらっしゃいませ、ご注文お決まりですか？」

彼「えーと、じゃ和風ハンバーグ2つね」

ウェイトレス「和風ハンバーグ2つですね。かしこまりました」

彼女「じゃ、私も和風ハンバーグ2つお願い」?????

レストランでは1人一人前食べるという先入観があれば、最後の彼女の言葉は想像すらつかないでしょう。

前置きが長くなってしまいましたが、電話は通話するものという概念をここで払拭していただきたい。携帯電話（ケータイ：三省堂の新語辞典にも載っているが携帯電話の若者語のこと）はメールをやり取りするもの、話ができなくてもいいのです。

1999年、先端技術で有名なMIT（マサチューセッツ工科大学）のある教授が学会出席のため日本に来た。都内を何カ所か観光し、彼らをもっとも印象に残ったのは、渋谷の街角で髪を茶色に染めたルーズソックスの高校生がほとんど携帯電話を持っていること。彼女らが親指ひとつで友人とメールの交換をしている姿がとて印象に残ったようだ。携帯電話はその60%以上



●ケータイの通話機能はおまけです

が通話ではなく、メール機能に使われている。すなわち話すよりもメールに使われるほうが多いのです。

若者はケータイでメール

実際にパソコンを購入して、メールを始めようとしたところで、はじめからどンドン役に立つわけではありません。しかしながらパソコンよりもっと身近で手軽な携帯電話で、メールの便利さを体験することをおすすめします。ケータイはどこにでも持って行けて、どこからでもメールが打てるからです。

1999年2月にスタートした、NTTドコモのiモードは、2000年末で1,700万人の利用者がいるといえます。

では、実際に高校生や若者はどのようにメールを利用しているのでしょうか。彼らはひと月平均100通以上のメールを交換しています。メールは手紙ではなく、電話でもない新しい情報交換の手段です。手紙や電話をするほどでもないが、一言だけ伝えたいことって意外と多いものです。

「今日の化学の試験チョー難しかったじゃん」

「無事に目的地に着きました。駅まで送ってくれてありがとう」

「明日の朝練習は7時にアップ開始です」

「電車が遅れているのでバイト遅刻します」

「診療室のガスの元栓閉め忘れました」